



株主通信

第216期(中間期) 2023年4月1日~2023年9月30日

[証券コード:3106]

CONTENTS

株主の皆様へ	1
当社グループの事業概況	3
トピックス	5
サステナビリティ	7
財務情報	8
株式情報・会社情報	9
株主メモ	巻末

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、当社グループの第216期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の概況につきまして、ご報告申し上げます。

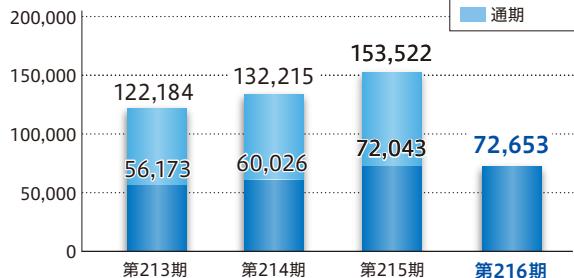
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行や供給制約の解消に伴い、製造業の生産活動が回復するとともにインバウンド需要も増加するなど堅調に推移しましたが、資源価格の高止まりや円安の進行、物価上昇による個人消費の伸び悩みなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境下において当社グループは、2022年4月よりスタートした中期経営計画「Progress'24」の基本方針である「高収益事業の拡大と持続可能な成長に向けた基盤事業の強化」のもと、成長・注力事業の業容拡大と基盤事業の収益力強化などに注力しました。

連結業績ハイライト

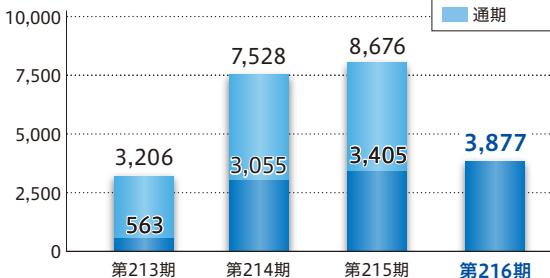
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は726億円(前年同期比0.8%増)、営業利益は38億7千万円(同13.8%増)、経常利益は45億2千万円(同2.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億2千万円(同22.7%減)となりました。

当期の中間配当につきましては、業績等を勘案し、1株につき40円といたしました。

今後の経済情勢につきましては、引き続き、緩やかに成長するものと思われませんが、中国をはじめとする海外景気の下振れや物価上昇による個人消費の伸び悩みに加え、出口の見えないロシア・ウクライナ情勢など、先行き不透明な状況が継続することが懸念されます。

このような経営環境のなかで、原燃料価格の変動リスクへの対応が大きな課題であり、引き続き、価格転嫁やコストダウンを進めてまいります。

また、当社グループでは、「イノベーションと高収益を生み出す強い企業グループ」を目指す「長期ビジョン2030」のセカンドステージにあたる中期経営計画「Progress'24」が進行中であり、高収益事業体制の確立に向けて、成長市場における注力事業へ経営資源を集中するとともに、基盤事業の収益力強化に取り組んでおります。さらに、引き続きグループガバナンスを強化するとともに、社会課題に取り組むなどサステナビリティを意識した経営を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月

取締役社長 藤田 晴 哉

経常利益

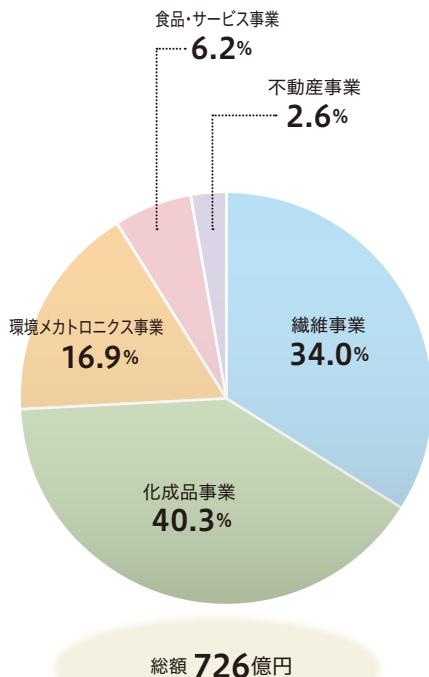


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



当社グループの事業概況

事業セグメント別売上高構成比率



繊維事業

糸は、独自技術による高機能製品が順調に推移しましたが、海外子会社で顧客の在庫調整の影響を受けて受注が減少し、減収となりました。

テキスタイルは、ユニフォーム向け素材は低調に推移しましたが、カジュアル向け素材の受注が順調で、増収となりました。

繊維製品は、顧客の在庫調整などにより受注が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は246億円(前年同期比11.8%減)、コストアップの影響もあり営業損失は3億7千万円(前年同期は営業利益3億6千万円)となりました。

繊維事業

●糸、テキスタイル、繊維製品(縫製品等)の製造・販売



化成品事業

軟質ウレタンは、自動車内装材向けでは、中国子会社が低調に推移しましたが、国内およびブラジル子会社の受注が順調で増収となりました。

機能樹脂製品は、太陽電池や自動車向けの機能フィルムの受注が回復しましたが、半導体需要の鈍化の影響を受けた半導体製造装置向け高機能樹脂加工品の受注が減少し、減収となりました。

住宅用建材は、断熱材は順調に推移しましたが、防熱工事が減少したことにより、減収となりました。

不織布は、マスク向けの受注が低調に推移し、減収となりました。

この結果、売上高は292億円(前年同期比2.6%増)、営業利益は16億3千万円(同11.0%増)となりました。

化成品事業

●軟質ウレタン、機能樹脂製品(機能フィルム、高機能樹脂加工品)、住宅用建材(合成木材、無機建材、硬質ウレタン)、その他(不織布、機能資材)の製造・加工・販売

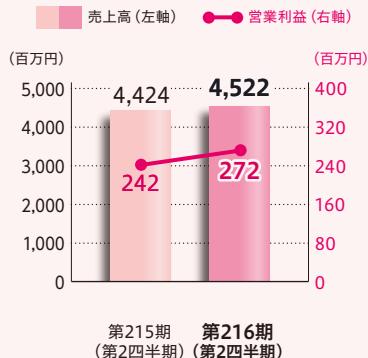


環境メカトロニクス事業

エレクトロニクスは、基板検査装置は低調でしたが、膜厚計などが順調に推移し、また、子会社でも半導体洗浄装置の大型案件があり、増収となりました。エンジニアリングは、半導体業界向け薬液供給装置が順調に推移し、また、子会社でも医薬品製造業界向け設備の大型案件があり、増収となりました。バイオメディカルは、攪拌脱泡装置の海外向け販売が好調で増収となり、工作機械は、国内および中国向けの販売が順調に推移し、増収となりました。この結果、売上高は122億円(前年同期比33.0%増)、営業利益は16億1千万円(同185.5%増)となりました。

環境メカトロニクス事業

- エレクトロニクス(色彩・生産管理等に関する情報システム機器、検査・計測システム)の製造・販売・保守
- エンジニアリング(環境・エネルギー関連の各種プラント等の設計・製作・施工・販売、バイオマス発電事業)
- その他(バイオ関連製品、工作機械等)の製造・販売



食品・サービス事業

食品は、外食需要の回復に伴う内食需要の低下や小売り価格の値上げによる買い控えの影響を受け、即席めん具材や成型スープなどが低調で、減収となりました。ホテル関連は、行動制限の撤廃や観光事業支援策の効果により、増収となりました。この結果、売上高は45億円(前年同期比2.2%増)、営業利益は2億7千万円(同12.2%増)となりました。

食品・サービス事業

- フリーズドライ食品の製造・販売
- ホテル、自動車教習所等の経営ほか



不動産事業

不動産賃貸は、新規の賃貸開始により売上高は18億円(前年同期比1.3%増)となりましたが、修繕費の増加などにより営業利益は12億4千万円(同2.9%減)となりました。

不動産事業

- 不動産の賃貸

コーポレートサイトのご案内

コーポレートサイトでは、会社案内や、ニュースリリースのほか、IR情報をお届けするため、「株主・投資家情報」を開設しています。「株主・投資家情報」では、当社グループの中期経営計画、IR資料、株式情報、財務情報など、株主・投資家の皆様のお役に立つ情報を提供しています。

「株主・投資家情報」のページ <https://www.kurabo.co.jp/finance/> ▶▶▶



トピックス

繊維 事業部

“L∞PLUS”を活用した 連携プロジェクトを積極展開

繊維事業部は、当社独自のアップサイクルシステム“L∞PLUS(ループラス)”を活用し、地域社会や自治体と連携するプロジェクトを積極的に展開しています。

JR東日本グループの(株)JR中央線コミュニティデザインとの衣服回収プロジェクト「MAWASU STATION」では、JR東日本の中央線エリアの駅を利用する方々より回収した衣類の一部を、手ぬぐいなどの新しい繊維製品に蘇らせました。



MAWASU STATION

愛知県安城市との「SDGs 共創プロジェクト」では、地域の方から回収した衣類を「安城七夕まつり」*のボランティアスタッフの方が使用するマフラータオルにアップサイクルしました。



安城七夕まつり

今後もこのようなプロジェクトを展開し、地域社会におけるアップサイクルの取組みと連携することで、持続可能なまちづくりや循環型社会の実現に貢献してまいります。

※安城七夕まつりは当社安城工場がある愛知県安城市で開催されており、仙台・平塚と並んで「日本三大七夕」と称されています。2023年8月の開催で第70回を迎えました。

安城七夕まつり公式サイト:<https://anjo-tanabata.jp/>



化成品 事業部

熊本事業所の 生産能力増強のための 新棟建設を開始

化成品事業部は、かねてより建設用地を取得していた熊本事業所(熊本県菊池市)で、新棟建設工事に着手いたします。今回の新棟は、2018年に続く2棟目となり、竣工は2025年3月を予定しております。

熊本事業所では、2012年から半導体製造装置に使用される、高機能樹脂加工品の生産・開発・営業を行っておりますが、今後も継続的な成長が見込まれる半導体市場での需要に対応するための新棟建設予定地として、2022年8月に隣接している土地を取得しておりました。

今回、約31億円を投資して、生産能力と開発体制を現状

の2倍以上に増強します。この新棟は、「クリーン化」、「自動化、省人化」、「先進技術、新規ビジネス対応」の3つを実現させる設計としており、今後、市場のさらなる拡大が見込まれる半導体業界において、当社の事業規模を拡大するために柔軟に対応できる体制を整備します。

熊本事業所の新棟の概要

- 場 所:熊本県菊池市
- 名 称:Kumamoto Innovation Center(仮称)
- 生産品目:高機能樹脂加工品
- 敷地面積:5,467㎡
- 建 物:鉄骨2階建
延床面積6,829㎡
- 設備内容:クリーンルーム、
高機能樹脂の各種加工設備、
評価・分析関連装置、自動倉庫 など
- 投 資 額:約31億円
- 操業開始:2025年4月(予定)



熊本事業所 新棟のイメージ

環境
メカトロニクス
事業部

「The Battery Show Europe」 に出展！

環境メカトロニクス事業部は、化成品事業部や関係会社のシーダム(株)と共同で、本年5月、ヨーロッパ最大規模の電池関連技術の展示会「The Battery Show Europe」(以下バッテリーショー)に出展しました。バッテリーショーはドイツのシュトゥットガルトで毎年開催されている展示会で、世界各国から約15,000人の関係者が集まり、主に自動車・EV業界の最新技術が展示されます。

ブースでは、攪拌脱泡装置“マゼルスター”、赤外吸収式膜厚計、グラビア印刷コーティング試験機などの製品を

はじめ、化成品事業部やシーダム(株)の製品である高機能フィルムや熱可塑炭素繊維シートなども展示。来場者に向けて、事業部や会社の垣根を越えた「オールクラボウ」として包括的なソリューションを提案しました。

すでにドイツなどの顧客から具体的な引き合いをいただいております。今後もグローバルな営業活動を積極的に展開し、成長著しいバッテリー業界での拡販を目指します。

バッテリーショーの
クラボウブース



関係会社
(株)倉敷アイビ
ースクエア

G7倉敷労働雇用大臣会合が 倉敷アイビースクエアで開催

本年4月22日、23日の2日間、倉敷アイビースクエアでG7倉敷労働雇用大臣会合[※]が開かれました。倉敷アイビースクエアでG7閣僚会合が開催されるのは、2016年のG7倉敷教育大臣会合に次いで2回目の開催となります。今回は、2018年にオープンした大型宴会場“アイビーエメラルドホール”がメイン会場として使用され、各国の大臣による議論が行われました。

この会合のテーマは「人への投資」であり、倉敷市より要望があったことから、従業員の教育や労働環境改善などに取り組んだクラボウ第2代社長大原孫三郎の軌跡を紹介するべく、加藤厚生労働大臣(当時)主催のエクスカーションとして各国の大臣に倉紡記念館を見学いただきました。

今回の会合に参加された各国閣僚をはじめ関係する方々より、倉敷アイビースクエアの歴史や施設の美しさなどに対し、高い評価をいただきました。今後も倉敷美観地区の観光拠点の1つとして、倉敷の魅力をより一層幅広く発信できる施設を目指してまいります。



集合写真 *提供:厚生労働省



会議シーン *提供:厚生労働省

[※] G7労働雇用大臣会合:フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダの7か国および欧州連合(EU)の首脳が年に1度集まるG7サミットに関連して開催される雇用・労働分野の閣僚会合。

(株)倉敷アイビースクエアの概要紹介ページ
<https://www.ivysquare.co.jp/>





「クラボウ統合報告書」を発行

クラボウは、初めて「クラボウ統合報告書(KURABO REPORT 2023)」を発行し、本年11月にコーポレートサイト内で公開しました。

統合報告書とは、企業の中長期的な価値創造戦略を財務・非財務の両面から統合的にまとめたレポートで、株主や投資家をはじめとするステークホルダーの皆様へ当社グループの価値創造プロセスやサステナビリティへの取組みをよりご理解していただくことを目的としています。

今回の本報告書では、業績の推移などの財務情報や、価値創造プロセスの詳細、トップメッセージおよび社外取締役対談、会社の重要課題(マテリアリティ)、財務・人材戦略、ESG(環境、社会、ガバナンス)などの非財務

情報を掲載しています。また、当社グループが社会課題解決にどのように貢献してきたか、また今後どのように貢献しようとしているかもご理解いただける内容となっております。

今後も、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを大切にしながら、企業価値の持続的な向上に取り組んでまいります。



統合報告書

クラボウ統合報告書

<https://www.kurabo.co.jp/sustainability/report.html>



「くるみん認定」を取得

クラボウは、本年7月、「くるみん認定」を取得しました。

「くるみん認定」は、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画[※]を策定し、行動計画に定めた目標を達成するなど一定の基準を満たした企業を、子育てサポート企業として厚生労働大臣が認定する制度です。

クラボウは、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンや柔軟な働き方の推進により、多様な人材が個々の能力を最大限に発揮し、自律的に業務を進めることができる企業風土づくりに取り組んでいます。その一環として、子育てと仕事の両立支援を拡充し、従業員が継続し



て働きやすい職場環境の整備に努めています。今回の「くるみん認定」の取得では「男性社員の育児休職の促進」「時差出勤・短時間勤務制度の整備」「年次有給休暇の取得促進」などの取組みが評価されました。

今後も、仕事と子育ての両立支援の充実および多様な人材が活躍できる職場環境の整備に取り組んでまいります。

※一般事業主行動計画:

企業が従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備や、子育てをしていない従業員も含めた多様な労働条件の整備などの取組みを策定するもの。

クラボウのダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン
<https://www.kurabo.co.jp/sustainability/society/diversity.html>



財務情報

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)	科目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部			負債の部		
流動資産	84,771	88,298	流動負債	46,030	46,178
固定資産	89,315	98,823	固定負債	25,149	28,873
有形固定資産	47,176	47,230	負債合計	71,179	75,052
無形固定資産	1,447	1,597	純資産の部		
投資その他の資産	40,690	49,995	株主資本	95,910	97,812
資産合計	174,086	187,122	その他の包括利益累計額	5,424	13,049
			非支配株主持分	1,572	1,207
			純資産合計	102,907	112,069
			負債純資産合計	174,086	187,122

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2023年4月1日～ 2023年9月30日)
売上高	72,043	72,653
売上原価	58,522	58,353
売上総利益	13,521	14,300
販売費及び一般管理費	10,115	10,422
営業利益	3,405	3,877
営業外収益	1,614	1,049
営業外費用	372	401
経常利益	4,647	4,525
特別利益	224	126
特別損失	71	131
税金等調整前四半期純利益	4,800	4,520
法人税等	1,476	2,016
四半期純利益	3,324	2,504
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	59	△18
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,264	2,522

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2023年4月1日～ 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,718	5,833
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,978	△1,974
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,087	△3,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	422	233
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,186	109
現金及び現金同等物の期首残高	14,073	10,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,887	10,469

株式情報・会社情報

当社の株式に関する事項 (2023年9月30日現在)

■発行可能株式総数	97,701千株
■発行済株式の総数	20,000千株
■株主数	13,879名
■大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,771	9.36
日本生命保険相互会社	920	4.86
株式会社三井住友銀行	782	4.13
株式会社みずほ銀行	782	4.13
株式会社中国銀行	726	3.84
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	637	3.37
クラボウ共栄会	331	1.75
三井住友信託銀行株式会社	317	1.67
三菱UFJ信託銀行株式会社	305	1.61
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE USL NON-TREATY CLIENTS ACCOUNT	297	1.57

(注) ①当社は、自己株式を1,083千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
②持株比率は自己株式を控除して計算しております。

当社グループの概要 (2023年9月30日現在)

当社

■創立 1888年3月9日 ■本店 岡山県倉敷市本町7番1号

■主要な事業所

区分	名称	所在地
営業所 および 研究所	大阪本社	大阪市中央区
	東京支社	東京都港区
	技術研究所	大阪府寝屋川市
工場	織維	安城工場 愛知県安城市
		徳島工場 徳島県阿南市
		寝屋川工場 大阪府寝屋川市
	化成品	裾野工場 静岡県裾野市
		群馬工場 群馬県伊勢崎市
		鴨方工場 岡山県浅口市
		三重工場 三重県津市
	熊本事業所 熊本県菊池市	

当社グループの従業員の状況

従業員数(前連結会計年度末比増減)(人) 4,184(△5)

(注) 従業員数は就業人員であり、上記のほか、臨時社員・パートタイマー1,035人がおります。

当社の重要な子会社の状況

区分	会社名
国内	倉敷機械(株)
	日本ジフィー食品(株)
	(株)クラボウインターナショナル
	倉敷繊維加工(株)
	東名化成(株)
	シーダム(株)
	クラボウケミカルワークス(株)
海外	(株)倉敷アイビースクエア
	クラシキド・ブラジル・テキスタイル(有)
	タイ・クラボウ(株)
	(株)クラボウ・マングアル・テキスタイル
	広州倉敷化工製品有限公司
広州倉福塑料有限公司	

(注) ①上記記載の重要な子会社13社を含め、当第2四半期の連結子会社は25社、持分法適用会社は2社であります。

②当社は2023年9月6日付で倉敷機械(株)の全株式の譲渡契約を締結しております。

当社の取締役 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長	藤田晴哉	取締役	藤井裕詞
代表取締役	北島篤	取締役	岡田治
取締役・専務執行役員	馬場紀生	社外取締役	茂木鉄平
代表取締役	川野憲志	社外取締役	新川大祐
取締役・専務執行役員	西垣伸二	社外取締役	西村元秀
取締役	稲岡進	社外取締役	谷澤実佐子

(注) 社外取締役(監査等委員)茂木鉄平、新川大祐、西村元秀および谷澤実佐子の4氏は、いずれも当社が定める「社外取締役の独立性に関する基準」の要件を満たしており、また東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員であります。

当社の執行役員 (2023年9月30日現在)

常務執行役員	八木克真	執行役員	森重潔
常務執行役員	西澤厚彦	執行役員	黒澤昭夫
常務執行役員	相徳朗人	執行役員	丸毛浩嗣
常務執行役員	中川真豪	執行役員	磯部将典
執行役員	平田政弘	執行役員	森松禎文
執行役員	松井一雄	執行役員	小松亮

もっと面白いことやってやろう。

イノベーションと新しい価値を創出し、より良い未来社会づくりに貢献するため、クラボウはダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DE&I) を重要な経営戦略の一つとして位置づけ、人材の活躍と組織の活性化を図っています。女性やシニア、外国人、障がい者、LGBTQ+といった多様な人材が働きやすい環境づくりにも注力。そんなクラボウで、社内の意識改革に取り組むのが人事部の河村です。しかし、昔ながらの価値観が根強い社内の壁は厚く、取り組みは困難の連続。課題も山積みの中、河村の奮闘が始まった・・・【WEBに続く】

企業の成長のカギは、
多様な人材が活躍する
職場にあり!



多様な人材の活躍で新しい価値を生み出す
DE&I (ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン) の推進

人事部
人材開発課
かわむら りょうこ
河村 僚子

日本の社会にもっと
イノベーションを創出 できないか?



クラボウは、
こんなことやってます。



詳しいお話は
WEBで!

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日
 - (1)定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日
 - (2)中間配当金 毎年9月30日
- 公告の方法
電子公告の方法により行います。
公告掲載URL <https://www.kurabo.co.jp>
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。